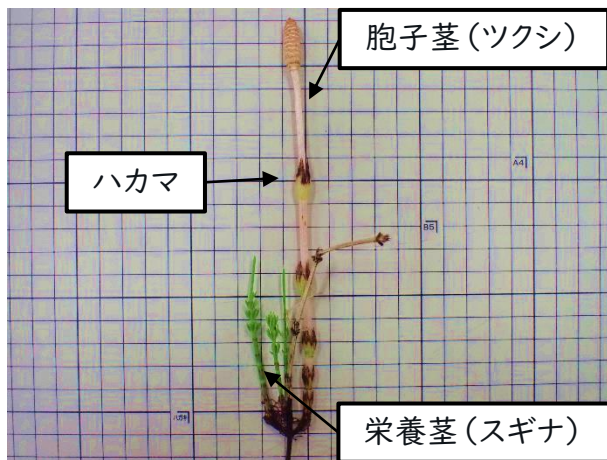
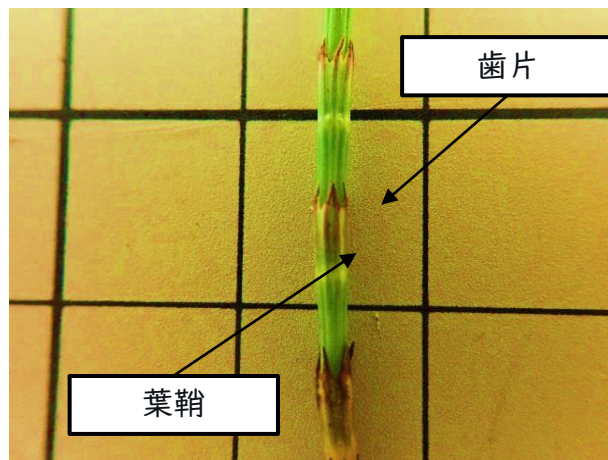


## 植物多様性センターの「ツクシとスギナ」

「ツクシ誰の子 スギナの子～」と歌にもある通り、ツクシとスギナには深い関係があります。土を掘ってみると実はこの2つ、地下茎でつながっています。スギナ(栄養茎)はスギの枝に似ていることから、ツクシ(孢子茎)は土を突いて出てくることからその名前があります(諸説あり)。ツクシは春の味覚として食べる方もいます。食べる時は、ハカマの部分を取りますがハカマは葉にあたります。今の時期、ツクシとスギナの両方を見ることができます。お散歩の時にぜひ見つけてみて下さい。



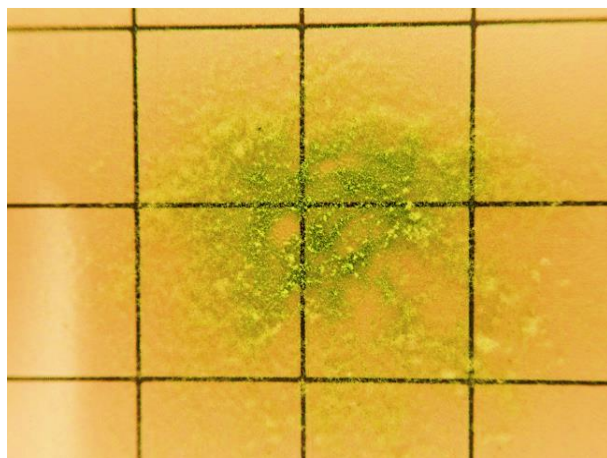
光合成を行う栄養茎と、  
胞子を飛ばす孢子茎。



【ハカマ】癒合した部分を葉鞘、  
していない部分を歯片という。



シダ植物の仲間で、胞子の入っている部分は六角形。



胞子は緑色で、葉緑素を持つ。  
食べると苦い。